

平成30年の火災件数は23件で、建物火災12件（うち住宅火災4件）、林野火災1件、車両火災6件、その他の火災4件が発生し損害額は21,097千円でした。原因別では、たばこが3件、こんろ、電灯・電話等の配線が各2件、ストーブ、排気管、灯火、内燃機関が各1件、その他7件、不明5件で、死者が1名、負傷者が2名でした。現在住宅火災の発生防止や被害軽減を目的に、住宅用火災警報器の全戸設置を目標としており、防火指導や広報活動を強く推進しています。

平成30年中の救急出動は3,737件、1日当たりの平均出動は約10.2件で、急病が62.4%を占め、次いで一般負傷、転院搬送の順となり、2,997人の患者を搬送しました。

千歳市では、中高層化する建築物の火災をはじめ、航空機災害、鉄道事故、高速道路等における多重衝突事故など様々な災害の発生が危惧されています。このため、指揮車及び支援車の導入や公設消火栓等の更新を行うなど消防施設や装備の計画的な整備・更新を継続し、現在、1署5出張所と1消防団8分団により24時間体制で災害に備えています。

また、緊急消防援助隊に登録し、平成23年3月に発生した東日本大震災では13隊29人の消防隊員を宮城県へ派遣しました。今後も各種災害を想定した消防隊員の技術及び活動能力向上に努めながら、関係機関との連携を図っていきます。

救急業務については、12誘導心電図伝送システムを搭載した2台を含む高規格救急自動車4台を配備するとともに、救命処置範囲の拡大に伴い、気管挿管、薬剤投与、処置拡大2行為などができる救急救命士を配置し、高度救命処置を行っています。平成25年4月から一刻を争う救命や幹線道路における事故現場の安全確保が必要な場合などでは、消防車と救急車が同時に出動する救急活動を展開し、平成30年中の出動件数は281件となっています。また、AEDを使用した心肺停止者に対する救命処置等を指導する救命講習を通年開催し、救命率向上と応急手当の普及啓発活動に力を注いでいます。

千歳市には常時観測火山である樽前山や、直下型地震の原因となる石狩低地東縁断層帯が存在します。市は災害に強いまちづくり・ひとづくりのため、毎年関係機関と連携し、樽前山噴火災害及び石狩低地東縁断層帯による直下型地震を想定した防災訓練を実施しておりますが、平成30年度は、北海道胆振東部地震の対応を踏まえ、市民参加型の避難所開設訓練を実施するなど、地域防災・減災体制のさらなる整備に努めています。

また、防災の拠点施設となる防災学習交流施設では、「学ぶ・体験する・備える」をキーワードに防災・減災に対する意識向上に取り組んでおり平成30年度は36,063人の利用がありました。

千歳警察署は、市内にある本署、5つの交番、2つの駐在所と空港警備派出所のほか、恵庭市内に3交番・1駐在所を置き、地域の安全を維持するため、警備体制の充実・強化を図っています。

交通安全は市民一人ひとりの切実な願いですが、依然として交通事故が後を絶ちません。市内では平成30年中に170件の交通事故が発生し、1人の死亡者と185人の負傷者が出ました。千歳市は、交通安全教育を実施するとともに、交通マナー等の普及啓発活動を行い、交通安全に対する意識の向上に努めています。

市内に所在する陸上及び航空自衛隊の各部隊は災害発生時における様々な災害派遣活動を担っています。また、第1管区海上保安本部の千歳航空基地は海上における警備救難及び200海里海洋秩序維持のほか、流氷観測などを行い、海上の安全と治安の確保を図っています。

164 消防職員数と消防車等設備の推移

年	消 防 署 (本部を含む)													消 防 団						
	職 員 数	自 動 車 台 数											無 線 (基)	分 団 数	団 員 数	自動車台数			可 搬 式 小 型 ボ ン プ	
		タ ン ク 車	ボ ン プ 車	化 学 車	屈 折 は し ご 車	は し ご 車	指 揮 車	広 報 車	救 助 工 作 車	資 機 材 搬 送 車	救 急 車	大 型 水 槽 車				人 員 輸 送 車	タ ン ク 車	ボ ン プ 車		積 載 車
27	128	6	1	1	—	1	1	8	1	1	4	1	1	148	8	174	2	2	4	5
28	131	6	1	1	—	1	1	8	1	1	4	1	1	148	8	176	2	2	4	5
29	131	6	1	1	—	1	1	8	1	1	4	1	1	148	8	176	2	2	4	5
30	130	6	1	1	—	1	1	8	1	1	4	1	1	148	8	179	2	2	4	5
31	131	6	1	1	—	1	1	8	1	1	4	1	1	148	8	172	2	2	4	5

1 各年4月1日現在
消防本部総務課・警防課

165 消防水利

(1) 施設数

総 数	消 火 栓				貯水槽 (40 t 以上)			用 水 路 (マンホール)	池・その他
	計	公 設		私 設	計	公 設	私 設		
		双 口	単 口						
1,688	1,402	169	978	255	144	50	94	142	—

1 平成30年12月31日現在
消防本部警防課

(2) 充足状況

水 利	現 有 数		A	685基	ポ ン プ	区 分	総 数	内 訳	
	基 準 数	B						823基	常 備
			現有台数C (台)	11		7	4		
			基準台数D (台)	12		7	5		
充足率	A/B×100		83.2%	充足率C/D×100 (%)	91.7	100	80		

1 平成27年4月1日現在
2 水利の現有数は、消防水利の基準に適合した消火栓数である
3 ポンプ現有台数、基準台数、充足率は消防力の整備指針に基づき算出
消防本部総務課・警防課

166 火災発生件数の推移

年・月	件数	焼 損 面 積		焼 損 棟 数	り 災 数		死 傷 者 数		損害見積額 (千円)
		建物 (m ²)	林野 (a)		世帯数	人員	死 者	傷 者	
26年	28	1,640	—	28	15	28	1	3	89,412
27年	19	219	—	10	2	3	—	2	25,313
28年	22	1,190	—	16	12	23	1	3	135,521
29年	23	431	—	18	11	21	2	—	19,744
30年	23	595	46	18	4	5	1	2	21,097
1月	2	8	—	1	1	2	—	—	987
2月	3	88	—	2	2	2	1	—	9,540
3月	1	—	—	—	—	—	—	—	2,504
4月	5	463	46	6	—	—	—	2	6,220
5月	4	6	—	3	—	—	—	—	1,397
6月	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7月	2	—	—	1	—	—	—	—	66
8月	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9月	2	—	—	2	1	1	—	—	40
10月	2	30	—	2	—	—	—	—	250
11月	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12月	2	—	—	1	—	—	—	—	93

消防本部予防課

167 原因別火災発生件数（平成30年）

順 位	原 因	件 数	順 位	原 因	件 数
1	たばこ	3	4	灯火	1
2	こんろ	2	4	内燃機関	1
2	電灯・電話等の配線	2		その他	7
4	ストーブ	1		不明	5
4	排気管	1			

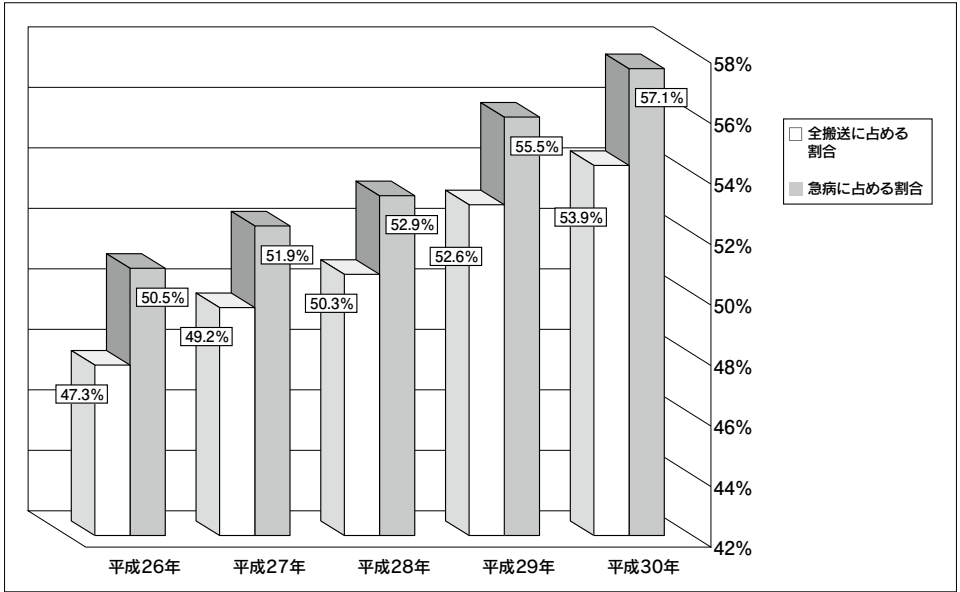
消防本部予防課

168 救急出動件数等の推移

年	総件数	火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	搬送 人員
26	3,232	13	—	4	236	28	23	437	17	41	2,068	365	2,785
27	3,208	14	—	3	242	22	18	460	18	42	2,052	337	2,716
28	3,349	25	—	—	217	26	10	516	25	33	2,159	338	2,676
29	3,610	19	1	4	237	47	15	538	21	50	2,237	441	2,858
30	3,737	15	5	13	228	46	24	500	19	47	2,331	509	2,997

消防署救急課

高齢者（65歳以上）の搬送割合の推移



消防署救急課

169 刑法犯罪発生の推移

区 分	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
総 数	1,730	1,353	1,158	1,118	907
凶 悪 犯	7	5	2	2	8
殺 人	—	—	—	—	—
強 盗	—	—	—	—	—
放 火	—	—	—	—	—
強 姦	—	—	—	—	—
粗 暴 犯	56	69	63	92	101
暴 行	—	—	—	—	—
傷 害	—	—	—	—	—
脅 迫	—	—	—	—	—
恐 喝	—	—	—	—	—
窃 盗 犯	1,206	898	816	762	593
知 能 犯	73	49	43	42	67
詐 欺	—	—	—	—	—
横 領	—	—	—	—	—
汚 職	—	—	—	—	—
偽 造	—	—	—	—	—
背 任	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—
風 俗 犯	52	63	44	35	20
そ の 他	336	269	190	185	118

1 千歳警察署管内（千歳市・恵庭市）の件数
北海道札幌方面千歳警察署

170 交通安全

(1) 年・月別発生状況の推移

年・月	発生件数	死亡者	負傷者
26年	193	4	236
27年	160	1	181
28年	169	2	189
29年	173	2	186
30年	170	1	185
1月	18	—	20
2月	15	—	16
3月	15	—	17
4月	13	1	12
5月	12	—	13
6月	10	—	11
7月	9	—	9
8月	20	—	23
9月	7	—	8
10月	17	—	18
11月	15	—	16
12月	19	—	22

1 千歳市内における件数（高速道を除く）
北海道札幌方面千歳警察署

(2) 路線別発生状況（平成30年）

路 線	発生件数	死亡者	負傷者
総 数	170	1	185
国 道 3 6 号	17	—	19
そ の 他 の 国 道	12	—	14
道 道 支 笏 湖 公 園 線	1	—	1
そ の 他 の 道 道	39	1	44
市 道 ・ そ の 他 道 路	101	—	107

1 千歳市内における件数（高速道を除く）
北海道札幌方面千歳警察署

(3) 交通安全教育施設（交通公園）

所 在 地 花園1丁目6番1号

面 積 20,626.78㎡

主要施設 管理棟 定周式信号機（1交差点） 押しボタン式信号機（1か所）

開 園 昭和53年10月20日

開館期間 毎年5月1日から10月31日まで

ただし、毎週月曜日は休園日（月曜日が国民の祝日又は振替休日にあたるときはその翌日）

利用状況の推移

年度	総 数	幼 児	小 学 生	一 般	団 体
26	18,258	3,434	6,932	6,102	1,790
27	19,640	5,164	5,423	6,837	2,216
28	19,878	5,401	5,262	7,434	1,781
29	20,071	5,381	5,277	7,745	1,668
30	16,830	5,388	3,583	6,810	1,049

1 一般に中学生を含む
市民生活課

171 非行少年等の推移

区 分		26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
総 数		487	443	462	493	455
非 行 少 年	刑法犯	79	40	45	36	14
	少年	27	8	7	9	7
	触法少年					
	小 計	106	48	52	45	21
	特別法少年	4	6	6	4	3
年	ぐ 犯 少 年	—	—	—	—	—
合 計		110	54	58	49	24
不良行為少年		377	389	404	444	431

1 千歳警察署管内（千歳市・恵庭市）の件数
北海道札幌方面千歳警察署

172 防災学習交流施設

(1) 施設概要

所在地 北信濃631番地の11 外

敷地総面積 8.4ha

主要施設 防災学習交流センター「そなえーる」（展示・体験コーナー等） 防災訓練広場 学びの広場（消火体験・救出体験） 防災の森（野営生活訓練広場・サバイバル広場・河川災害訓練広場）

〔防災学習交流センター「そなえーる」〕

構造 S造及びRC造の併用構造 地上3階塔屋1階

面積 建築1,443.81㎡ 延床2,037.19㎡

開館 平成22年4月24日

防災学習交流施設

(2) 利用状況の推移

年 度	総 数	そなえーる・学びの広場利用者数				防災の森利用者数	
		見学・体験	有料施設	訓練	自主事業	宿泊	日帰り
26	44,339	17,417	4,705	5,677	3,284	1,601	11,655
27	42,027	16,173	4,498	3,805	2,870	1,652	13,029
28	39,526	14,289	4,460	5,036	1,031	1,916	12,794
29	41,891	14,592	4,561	5,378	1,416	2,822	13,122
30	36,063	13,142	4,154	3,639	1,607	2,669	10,852

防災学習交流施設



防災学習交流施設（そなえーる）